



(2) 都市空間デザイン

都心部との関連性から見た空間構成の基本方針

熊本駅周辺地区の望まれる役割

- ・ 広域的な位置づけ：「熊本の玄関口」、「九州を代表する生活・文化の交流拠点」
- ・ 熊本市における位置づけ  
：副都心として、九州中央の拠点にふさわしい交流拠点を形成し  
中心市街地全体のポテンシャルアップを図る。

目指すべき空間構成の基本方針

地勢から見た基本方針

豊かな水と緑と調和し、人々に「癒し」を与える都市空間づくり。

九州熊本の歴史を表現・アピールしつつ、新たな熊本らしさを形作る都市空間づくり。

動線から見た基本方針

道路・水辺・広場空間が、相互の連続性を意識させ人々に「期待感」を持たせる市空間づくり。

公共空間と民有空間が一体となって、県都の顔となるシンボリックな都市空間づくり。

機能から見た基本方針

多様な人々の活動を、安全で快適にサポートする「安心」を与える都市空間づくり。

地球環境や都市デザインにおいて、九州の牽引役となる都市空間づくり。

県都・熊本にふさわしいシンボリックな“まち”

都市の成長を実感し、活力とにぎわいのある“まち”

豊かな地域の環境と共生する“まち”



空間構成のデザインテーマの設定

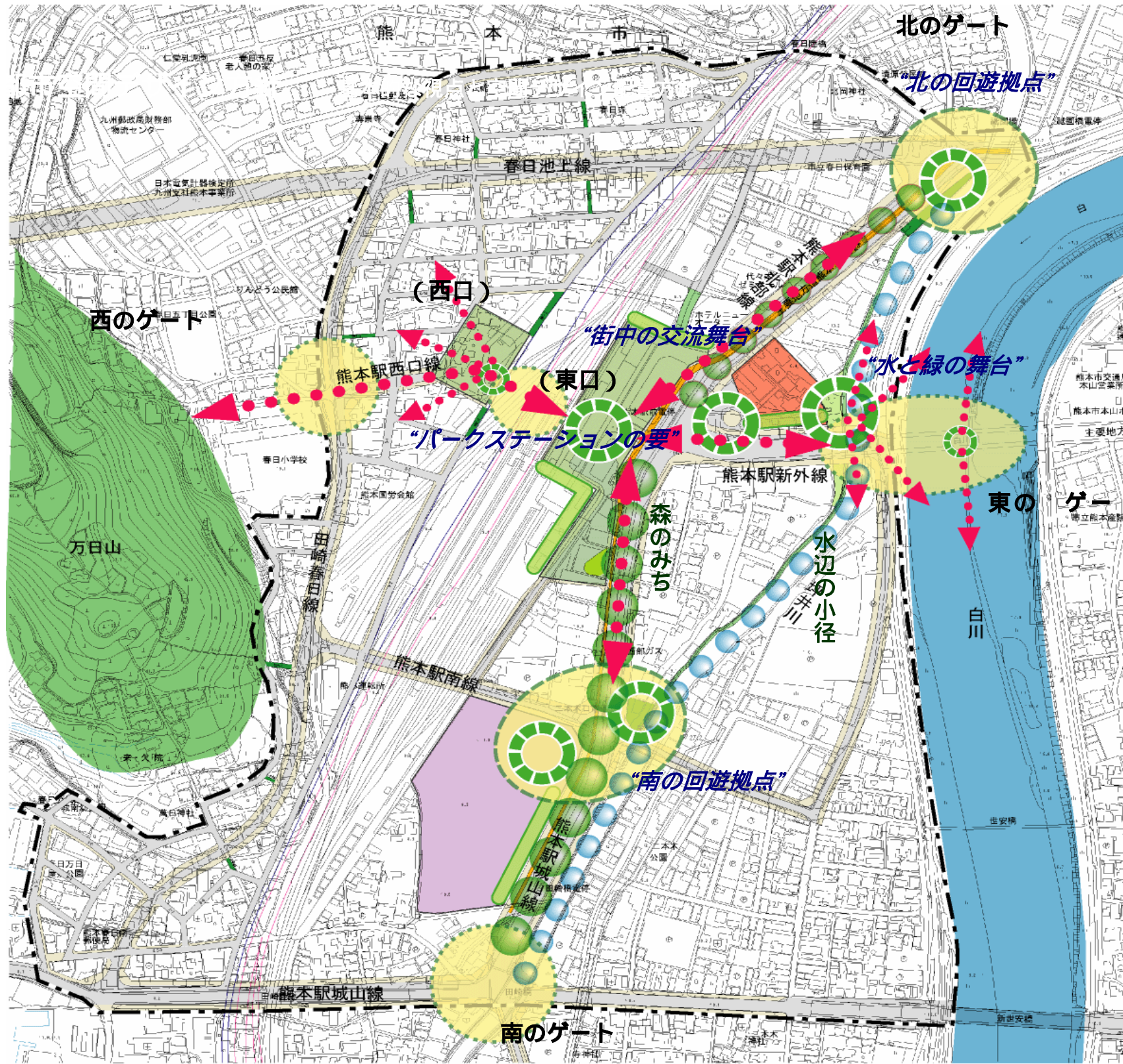
心安らぐふれあいが感性に響く  
森の都の癒しの空間

地区全体が『森の都』を感じさせる空間の演出により、様々な人々に『癒し』を提供する空間づくり  
地区の個性や魅力（自然・歴史・文化・都市活動等）を活かし、誰もが『心の安らぎ』を感じ、ここでの様々なふれあいが『感性(心)に響き』、また、より多くの人々を惹きつける『洒落たデザイン』の空間づくり

《地区を構成する空間軸の考え方》

アメニティ軸	森のみち	水辺の小径
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出会いとふれ合いの広場（駅及び東西駅前広場）と万日山（緑の拠点）・白川（水辺空間）を結ぶシンボリック性の高い景観軸及び活動軸</li> <li>・ 軸上に様々な交流の場が整備され、駅周辺地区の賑わいを醸し出すとともに、人々を駅から緑・水辺へ誘う空間づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熊本駅への主要アクセス道路として自動車だけでなく、市電やバスなど都心等との連絡機能を有する街なか交通軸</li> <li>・ 地区の主要南北軸として、パークステーションにふさわしく“森”を実感できる空間づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坪井川の水辺空間と歴史的資源の活用により、賑わいある地区内で心の安らぎを与える散策路</li> <li>・ 東A地区再開発と一体となった親水広場を設け、懐古的な風景と水辺の都市文化を再現できる空間づくり</li> </ul>

基本的な視点と空間デザイン配置方針



空間軸と回遊拠点

アメニティ軸

- 西口駅前広場 ... 開放的で明るい広々とした空間
- 東西自由通路 ... 来訪者に優しく、使い勝手の良い憩い空間
- 東口駅前広場 ... 出会いとふれあい、木漏れ日の広場  
駅に降立つと、安らぎを感じる癒しの空間
- 東A交流広場 ... イベントや各種催しに適し、高低差を活用した立体的な舞台空間
- 熊本駅新外線 ... 枝張りの狭い高木並木で空の開けた空間
- 坪井川水辺広場... まちの歴史や懐古的な風景を見せる安らぎの空間

森のみち

- 熊本駅北部線 ... 熊本の歴史・文化を感じながら都心部へと誘う空間
- 熊本駅城山線 ... 電車が緑豊かな林の中を走る個性的な空間

水辺の小径

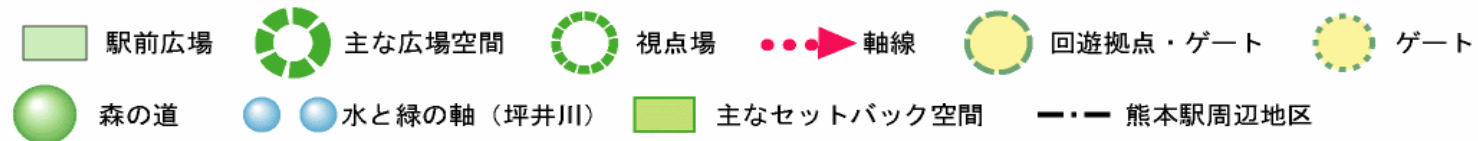
- 坪井川景観軸 ... 水辺を眺めながら歩いて楽しむ親水空間

回遊拠点

- 北の回遊拠点 ... 駅周辺の環境イメージと都心部の歴史文化特性との融合をみせる空間
- 南の回遊拠点 ... 坪井川、街角広場、合同庁舎公開空地及び歩道が一体となった辻広場

4つのゲート

- 東のゲート ... 白川橋からの眺望を活かした溜まり空間
- 西のゲート ... 西口の入り口としてゲート性をみせる空間
- 南のゲート ... パークステーション領域の境界
- 北のゲート ... 北の回遊拠点を兼ねる



アメニティ軸のデザインイメージ

《安らぎ・賑わいの軸》

- ・後背の万日山の豊かな緑と歴史性を感じさせる空間づくり

《西のゲート》

- ・アメニティ軸の西のゲートとして緑と地区の歴史を感じさせる空間づくり



《賑わい・憩いの軸》

- ・「出会いとふれ合いの広場」から来訪者や地区内活動者を坪井川親水広場へ導く空間づくり（動から静へ、期待感を持たせるデザイン）

《ペDESTリアンデッキ》

- ・北部線及び城山線から駅に近づいたことを視認させる構造物として、街並みに調和しつつもシンボリックなデザイン



《交通広場》

- ・東口の拠点施設である再開発建築物とあわせて、賑わいの場として機能
- ・イベント広場としても利用できる広がりある空間づくり



《出会いとふれ合いの広場》

- ・熊本の玄関口として、緑・水・歴史を感じる空間づくり
- ・賑わいの中にも、憩いや安らぎを与え、来訪者に優しい空間づくり

《西口駅前広場》

- ・万日山を後背に持つアメニティ軸西側の拠点として、利用者が自然の豊かさを感じる空間づくり



《東口駅前広場》

- ・利用者にとって判りやすく、賑わいを創出し広がりある空間を確保するとともに、憩いと安らぎのある空間づくり
- ・アメニティ軸東側の導入部として、新外線の軸線を視認できる空間づくり



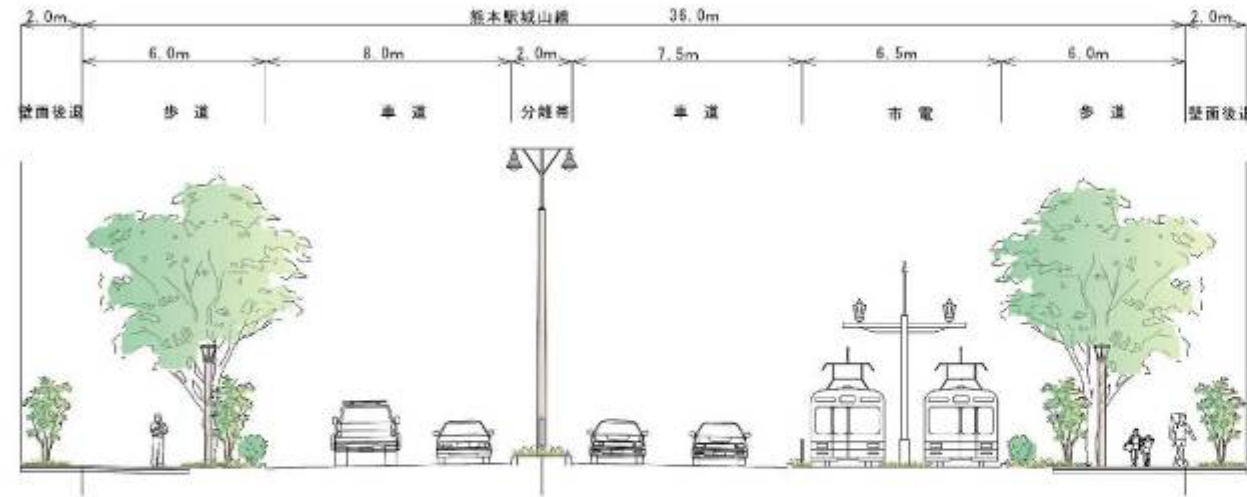
《坪井川親水広場》

- ・地区内で水辺を身近に感じられる憩いの空間として、また坪井川の歴史を感じさせる空間づくり

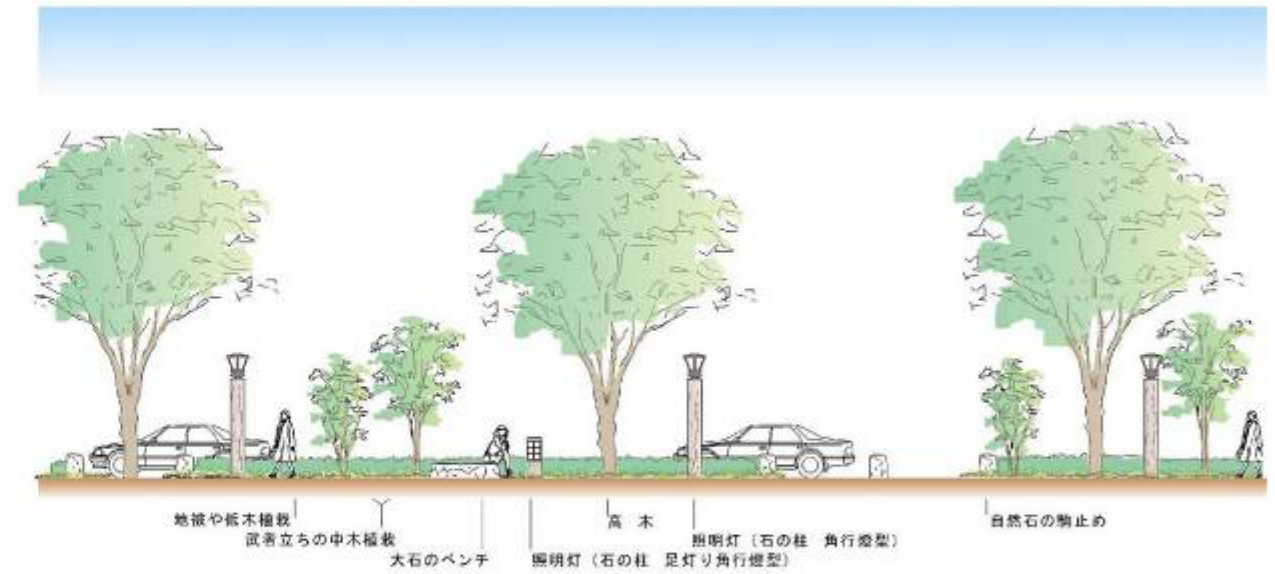


# 森のみちのデザインイメージ

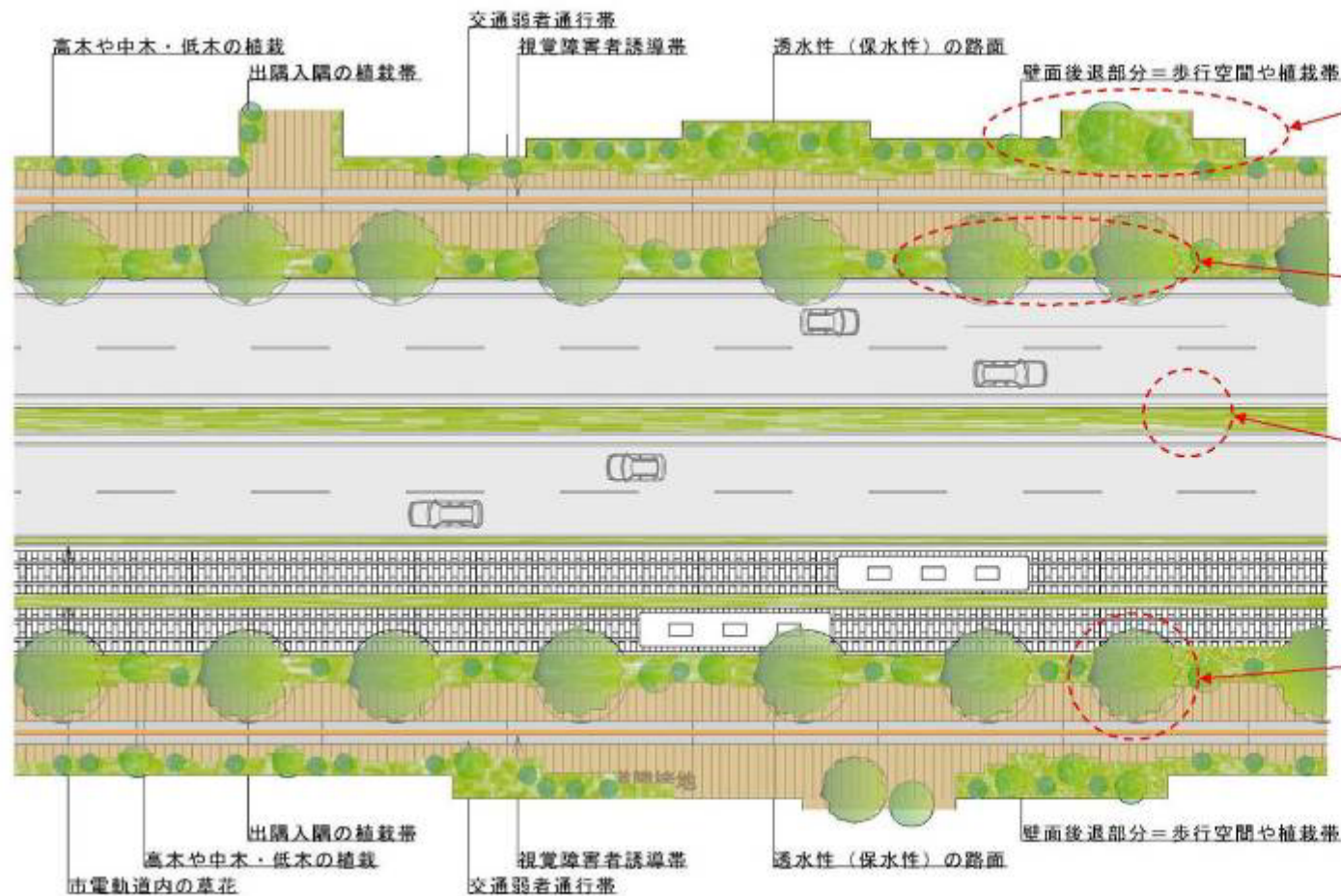
## ■断面構成のイメージ



## ■立面構成のイメージ



## ■平面構成イメージ



■出隅入隅による平面的な抑揚を備えた園路のような歩道デザイン  
 ・歩道と沿道敷地が一体となった園路を構成。  
 ・森の園路のような、心地よい散策にも似合う、味わいのある路のデザイン。  
 ・歩道植栽帯や民地内部分の外構等に出隅入隅を取組むことで、視覚的な変化や空間的な抑揚を構成。

■植栽と照明による立体的な抑揚を備えた施設配置デザイン  
 ・高木、中木、低木、地被植物による様々な植栽と、石材による高さの異なる歩道照明及びベンチ等をバランス良く配置することで、立体的な抑揚(空間的な変化)を構成。

■照明街具のデザイン  
 ・県都の表通りとして、風格や重厚感を感じさせるデザイン。  
 ・吊り下げ式の行灯のような車道灯、ガス灯のような街路灯、市電の灯具、3つの施設共に風格や重厚感、歴史の積み重ねが感じられるような共通デザイン。

■緑化のデザイン  
 ・熊本駅城山線と北部線は、一筆の街路として同種の樹木による並木を形成。  
 ・枝張りの良い、緑被面積の豊かな樹形。  
 ・等間隔の高木配置と共に、中木、低木をバランス良く適所に配置することにより、空間に抑揚感を形成。

## 水辺（坪井川・白川）の利活用イメージ

### 水辺の小径

- ・坪井川の水辺空間を利用した 回遊性を高め、心の安らぎを与える散策路
- ・坪井川の眺めを題材として、眺めながら歩く親水空間



### 水辺の広場

- ・アメニティ軸の拠点として歩行者系動線のクロスポイントの親水空間
- ・坪井川の水辺と石垣を眺め潤いと歴史性を楽しむ水辺



### 水面の活用

- ・石塘堰の湛水期間中における市民等の船遊びも可能となる環境空間
- ・歴史資源を活かし、水辺の都市文化の再生



### 水辺の緑地

- ・白川橋上下流左岸高水敷について、年間を通して親しまれ利用される親水機能を持った水辺空間

